

誠実に！真剣に！  
情熱を持って！

# まさのぶ NEWS

Vol.

3

2012.4.

## “災害廃棄物”を受け入れる (株)クリーンシステムを視察！

4月18日、岩沼市からの災害廃棄物(がれき)を受け入れることになった、株式会社クリーンシステム(山形市飯塚町字中河原1629-5)に武田新世議員と二人でお邪魔し、受け入れ手順について説明を受けたり、木くず再生工程を行う施設を拝見させて頂きました。



災害廃棄物は、クリーンシステム正門前で、運び込まれた車両の前後左右1mの空間放射線量率を測定します。

ここで、基準超過であれば搬入することなく、そのまま搬出地に引き返して貰うことになります。

また、正門前には掲示板が設置され、搬入の都度、①敷地境界における空間放射線量率、②仮置き場の放射性セ

シウム濃度、③搬入車両台数、④搬入車両の空間放射線量率が記載されるとともに、クリーンシステムのホームページにも掲載されます。

岩沼市から運び込まれるのは、家庭用の建築廃材とされており、一旦一次保管場所に分別されて保管されます。



その後、荒選別を行ったあと、チップ等の製品に再生する施設で粉碎処理されます。破碎する際に粉塵等が発生しますので外と破碎機械等にミスト機が設置されていました。がれき処理なくして被災地の復興はあり得ません。市民の皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## こども医療制度が拡大しました！

こども医療制度が拡大されました。4月1日から、外来分の助成対象年齢を、これまでの小学校1年生までから小学生3年生までに拡大しました。また、一定の収入がある方から徴収していた一部負担金もなくなり、保険診療分に係わる自己負担が無料となりました。(入院の場合は、小学校6年生までとなります。)

これまで、私は子育て支援の充実という視点から、市長並びに市当局にこども医療制度の充実、特に医療費の無料化の拡大を訴えてきました。これからも、早目に小学校6年生までの拡充を達成するとともに、0歳から義務教育(中学校3年生)までの医療費無料化を推進していきます。

## 建設の鈍音響かせて！

西崎地内の現場では、(仮称)西消防署の完成を目指して、建設の鈍音響かせています。計画では、10月には防災センターを含めオープン予定です。無事故で素晴らしい建物が完成し、市民の安全・安心の拠点となるよう心からご祈念申し上げます。



(仮称)西消防署新築工事

お問い合わせはこちら

おりはら政信山形市議会議員 山形市大字沼木863-2 TEL: 023-643-5094